

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が第51週に40例(男性20例(10歳代1例, 20歳代1例, 30歳代9例, 40歳代4例, 50歳代1例, 70歳代2例, 年齢非公開2例), 女性19例(10歳代3例, 20歳代3例, 30歳代6例, 40歳代1例, 50歳代1例, 60歳代2例, 80歳代2例, 年齢非公開1例)あり, 本年の累積報告数は21,221例になりました。

新型コロナウイルス感染症の報告が第52週に77例(男性30例(10歳代1例, 20歳代6例, 30歳代12例, 40歳代4例, 50歳代3例, 60歳代2例, 70歳代2例), 女性42例(10歳代4例, 20歳代15例, 30歳代7例, 40歳代7例, 50歳代4例, 60歳代1例, 70歳代1例, 年齢非公開3例)あり, 本年の累積報告数は21,298例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

○新型コロナウイルス感染症 最新の動向

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が第52週に1例(70歳代男性)あり, 症状は粘血便等です。本年の累積報告数は8例になりました。
- ウイルス性肝炎(その他)の報告が第51週に1例(20歳代女性)あり, 症状は全身倦怠感, 発熱, 肝機能異常です。本年の累積報告数は2例になりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第50週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は42例となりました。
- 梅毒の報告が第51週に6例(30歳代男性3例, 40歳代男性2例, 20歳代女性1例)(第50週追加報告分2例含む), 第52週に1例(50歳代男性)ありました。本年の累積報告数は78例となりました。
- 第52週は年末年始で医療機関が休診のため, 例年, この時期は全体的に報告数が減少する傾向にあります。第52週の定点医療機関からの報告数は236例で, 前週557例の約4割程度の報告となっています。

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4.09(176例)で, 前週の10.47(450例)から大きく減少しました。全国でも同様で, 前週の7.78から減少し, 今週は4.14でした。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

【2021年第51週】

- 二類:結核 5例(肺結核 1例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 247例(肺結核 85例, その他結核 78例, 潜在性結核感染者 84例)うち喀痰塗抹陽性 42例】
- 新型コロナウイルス感染症 40例【1月以降の累積報告数21,221例】
- 五類:ウイルス性肝炎 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2例【1月以降の累積報告数 42例】
- 五類:梅毒 6例【1月以降の累積報告数 77例】

【2021年第52週】

- 二類:結核 2例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 249例(肺結核 86例, その他結核 78例, 潜在性結核感染者 85例)うち喀痰塗抹陽性 43例】
- 新型コロナウイルス感染症 77例【1月以降の累積報告数21,298例】
- 五類:アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 78例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	2021年 第51週		2021年 第52週		報告数
		定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	0. 01	1	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎 ② 手足口病 ③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ④ ヘルパンギーナ ⑤ 咽頭結膜熱	10. 47 1. 19 0. 44 0. 30 0. 23	450 51 19 13 10	① 感染性胃腸炎 ② 手足口病 ③ ヘルパンギーナ ④ 水痘 ⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ⑤ 突発性発しん	4. 09 0. 56 0. 21 0. 14 0. 12	176 24 9 6 5
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2	流行性角結膜炎	0. 10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

付表(疾病, 行政区分別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

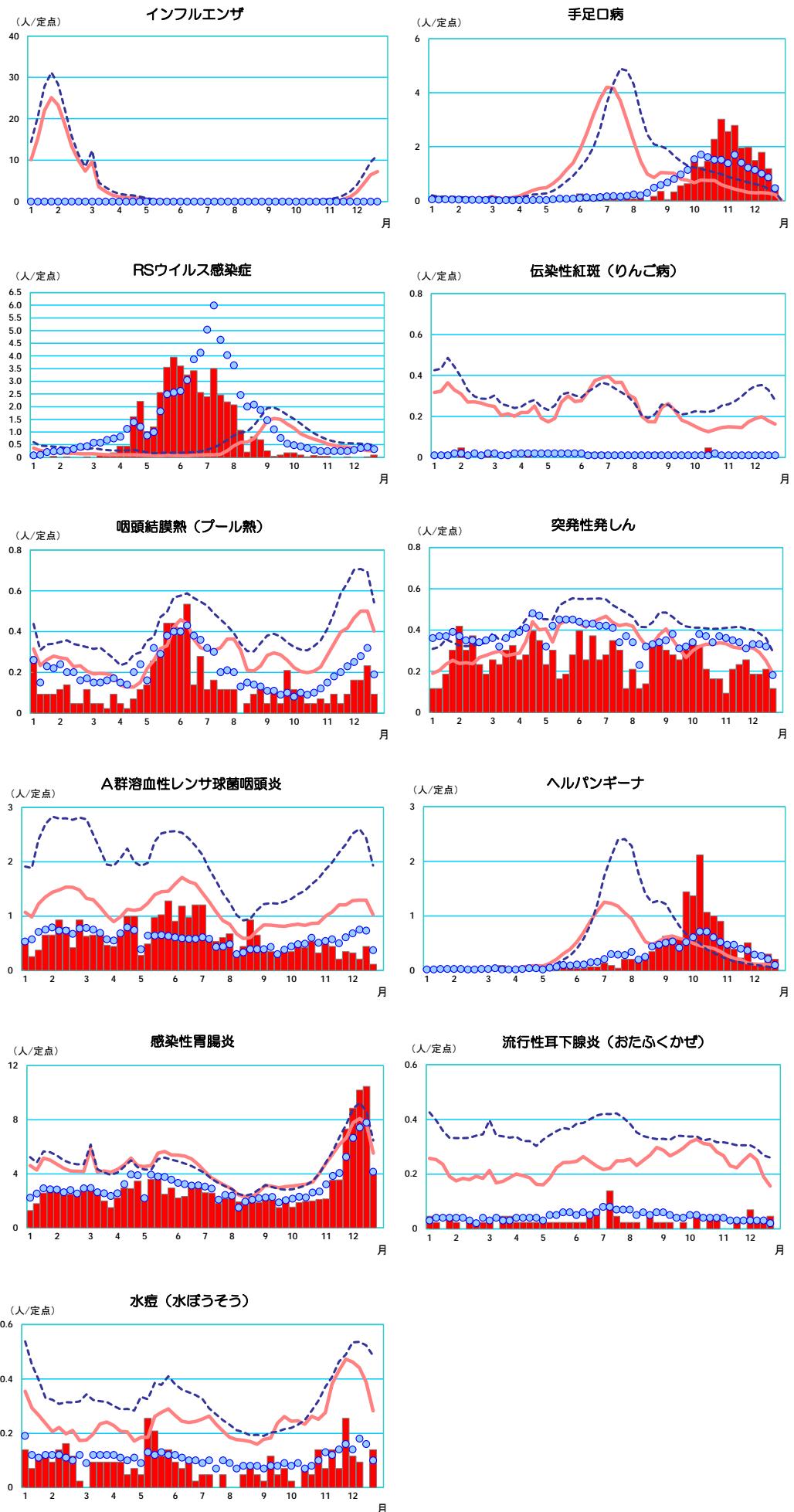
(注) 京都市のデータは、2022年1月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

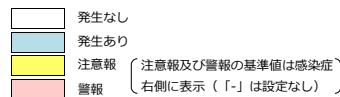
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）

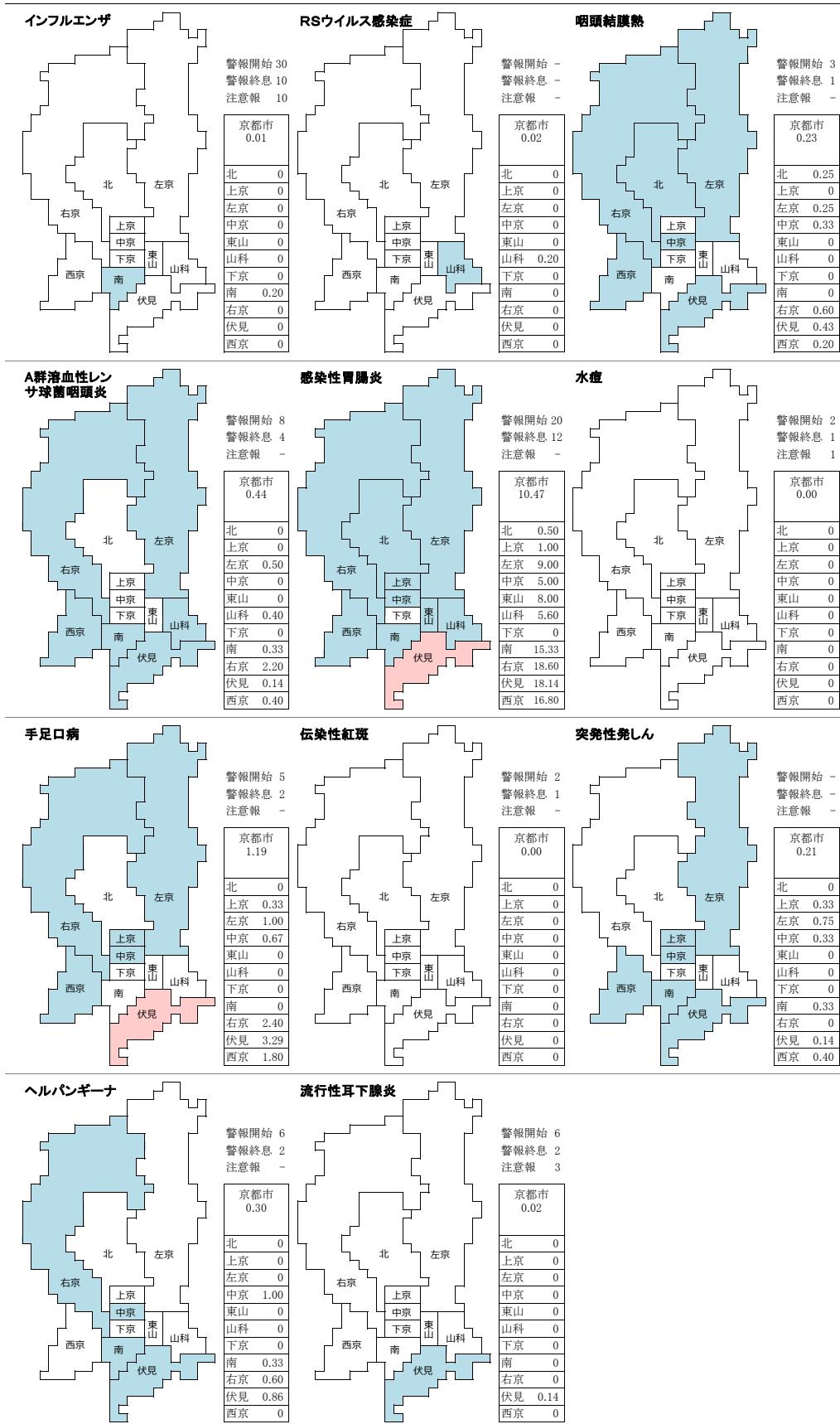
京都市_本年 京都市_過去5年平均値
全国_本年 全国_過去5年平均値



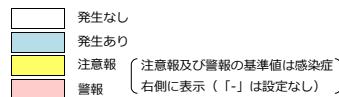
インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第51週】



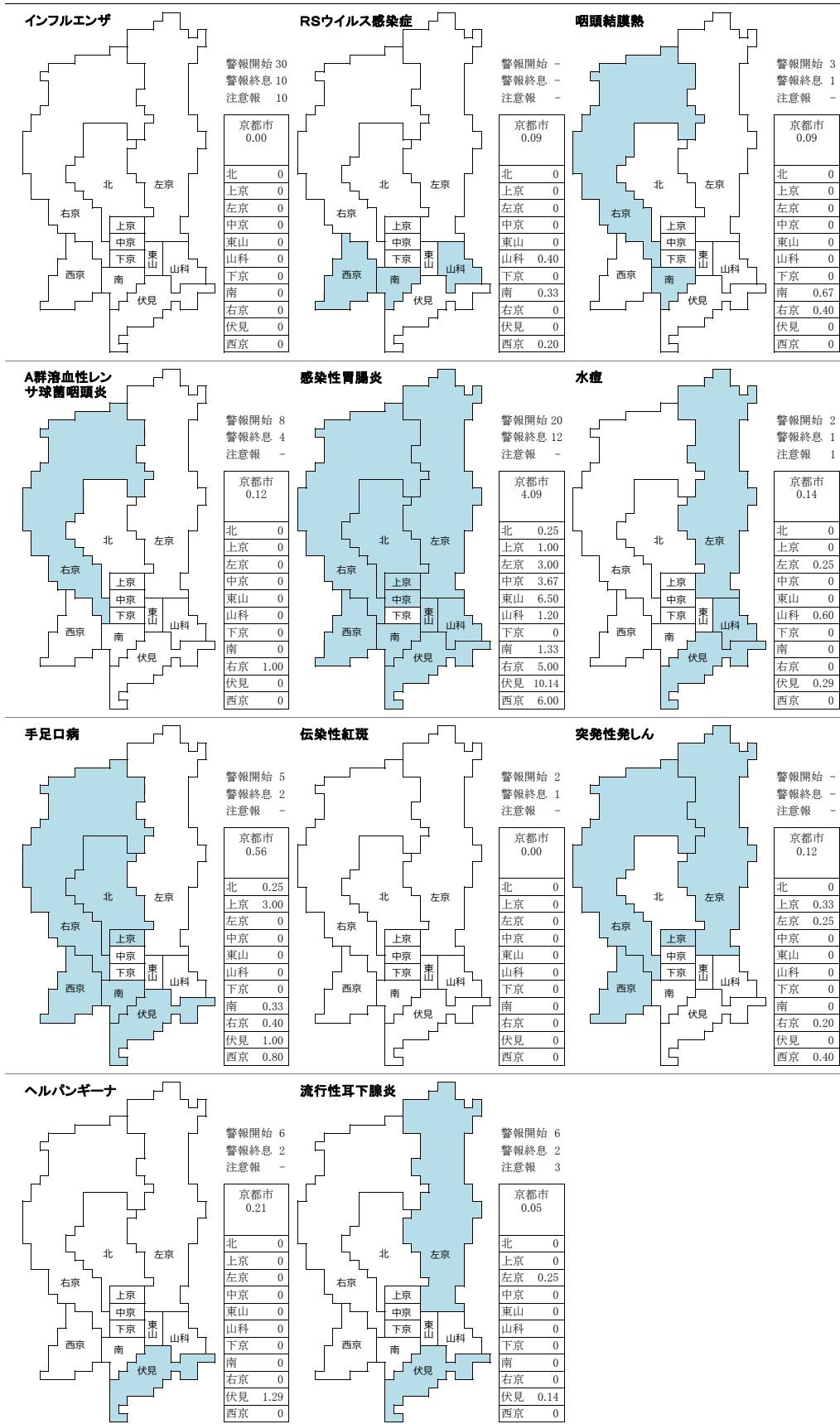
定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第52週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして、定點当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第52週(12月27日～1月2日)トピックス：<感染性胃腸炎>

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4.09(176例)で、前週の10.47(450例)から大きく減りました。全国でも同様で、前週の7.78から減少し、今週は4.14でした。第52週は年末年始に当たり、医療機関が休診になるなど、報告が少なくなる傾向があります。インフルエンザ定点及び小児科定点把握感染症11疾患の合計報告数は前週が555例、今週は半分以下の235例でした。感染性胃腸炎は、前週まで京都市では11週連続して、全国では9週連続して増加が続いており、今週の感染性胃腸炎の減少が実際の流行状況を表しているかどうかは、来週以降も含めた観察が必要です。

感染性胃腸炎の原因となる病原体には、ウイルス性のものではノロウイルスやロタウイルスなど、細菌性のものでは病原性大腸菌(腸管出血性大腸菌を除く)、サルモネラ、カンピロバクター、比較的最近新しい菌種として分類された*Escherichia albertii*(カタカナではエシェリキア・アルベルティイあるいはエシェリヒア・アルバーティーなどと表記)など、寄生虫性のものではアメーバなど、多岐にわたります。

感染症発生動向調査において、小児科定点から報告される感染性胃腸炎の届出は、基準となる臨床的特徴があり、症状や所見から要件を満たして感染性胃腸炎患者と診断された場合であり、必ずしも原因病原体の特定はされていません。

一方、保健所が調査する食中毒事例では、その原因を含めて調べられ、食中毒統計などで公表されています。食中毒統計によると、前述の多様なウイルスや菌のうち、原因が判明している食中毒で最も患者数が多いのはノロウイルスで、52%を占めています。この統計の内訳は飲食店等を多く含みますが、ノロウイルスの普遍的広がりや感染力の強さを考えると、家庭における原因病原体もノロウイルスが多くを占めると推測できます。

流行時期については、腸管出血性大腸菌感染症が夏季に多いのに対し、ノロウイルスによる感染は冬季に多いとされています。過去5年平均値では12月にピークがあること(図1)、食中毒統計でも冬季に発生が多いこと(図3)を見ても、感染性胃腸炎で今の時期に最も注意しなければならない病原体はノロウイルスであると言えます。保育園、幼稚園、三学期が始まる小学校など、集団が活動する施設では感染予防の手順等を再確認し、発生を防ぎましょう。

図1 本市及び全国の定点当たり報告数の推移

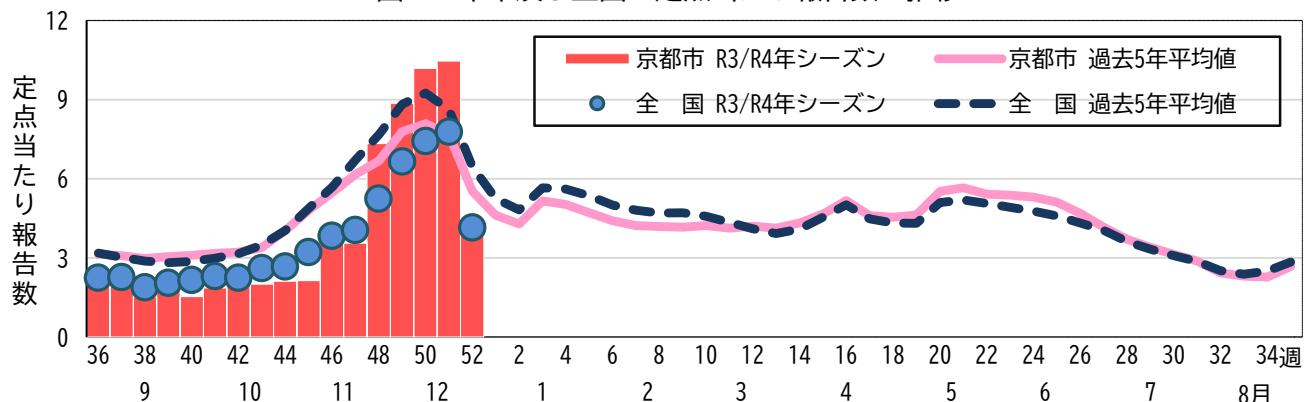
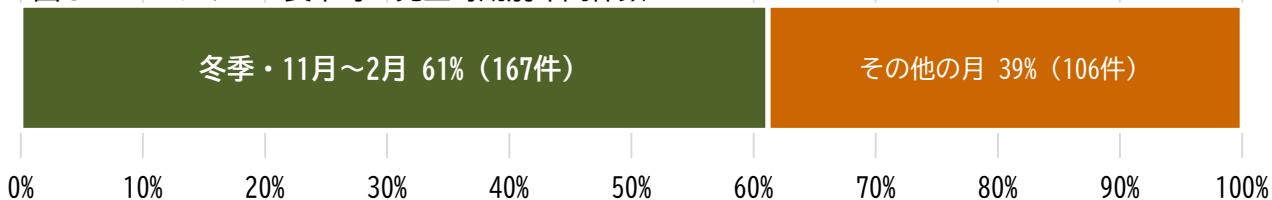


図2 原因別食中毒年間患者数※



図3 ノロウイルス食中毒の発生時期別年間件数※



※ 厚生労働省 食中毒統計調査より。2014年～2020年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/112-1.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第51週

疾病,行政区別報告数

2021年12月20日～2021年12月26日

データ入手日:2022年1月5日

	インフルエンザ （※ ¹ ）	R Sウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足 口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎 （※ ² ）	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （※ ³ ）	感染性胃腸炎 （※ ⁴ ）
男女合計																		
北	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上京	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	-	-	1	2	36	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
中京	-	-	1	-	15	-	2	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	-	1	-	2	28	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	1	-	-	1	46	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
右京	-	-	3	11	93	-	12	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
伏見	-	-	3	1	127	-	23	-	1	6	1	-	-	-	-	-	-	
西京	-	-	1	2	84	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市計	1	1	10	19	450	-	51	-	9	13	1	-	2	-	-	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ （※ ¹ ）	R Sウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足 口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎 （※ ² ）	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 （※ ³ ）	感染性胃腸炎 （※ ⁴ ）
男女合計																		
北	-	-	0.25	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上京	-	-	-	-	1.00	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	-	-	0.25	0.50	9.00	-	1.00	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	
中京	-	-	0.33	-	5.00	-	0.67	-	0.33	1.00	-	-	-	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	8.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	-	0.20	-	0.40	5.60	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	0.20	-	-	0.33	15.33	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	
右京	-	-	0.60	2.20	18.60	-	2.40	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	
伏見	-	-	0.43	0.14	18.14	-	3.29	-	0.14	0.86	0.14	-	-	-	-	-	-	
西京	-	-	0.20	0.40	16.80	-	1.80	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市計	0.01	0.02	0.23	0.44	10.47	-	1.19	-	0.21	0.30	0.02	-	0.20	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第51週

年齢階級、疾病別報告数

2021年12月20日～2021年12月26日

データ入手日:2022年1月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		10	-	1	2	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	1	-	2	1	3	2	-	1	1	-	1	3	1	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		450	1	21	82	88	62	54	44	22	13	12	8	13	3	27	-	-	-	-	-	-
水痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		51	1	4	23	13	5	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		13	-	-	7	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
細菌性結膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級、疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.23	-	0.02	0.05	0.12	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.44	0.02	-	0.05	0.02	0.07	0.05	-	0.02	0.02	-	0.02	0.07	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		10.47	0.02	0.49	1.91	2.05	1.44	1.26	1.02	0.51	0.30	0.28	0.19	0.30	0.07	0.63	-	-	-	-	-	-
水痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.19	0.02	0.09	0.53	0.30	0.12	-	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.07	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.30	-	-	0.16	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢4	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	-
細菌性結膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

※2 細菌性結膜炎は結膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第52週

疾病,行政区別報告数

2021年12月27日～2021年1月2日

データ入手日:2022年1月7日

	インフルエンザ (※ ¹)	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A炎群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎(※ ²)	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※ ³)	感染性胃腸炎(※ ⁴)
男女合計																		
北	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上京	-	-	-	-	3	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	-	-	-	-	12	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
中京	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	-	2	-	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	-	1	2	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
右京	-	-	2	5	25	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
伏見	-	-	-	-	71	2	7	-	-	9	1	-	-	-	-	-	-	
西京	-	1	-	-	30	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市計	-	4	4	5	176	6	24	-	5	9	2	-	1	-	-	-	-	

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※ ¹)	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A炎群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性齶膜炎(※ ²)	無菌性齶膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※ ³)	感染性胃腸炎(※ ⁴)
男女合計																		
北	-	-	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上京	-	-	-	-	1.00	-	3.00	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	
左京	-	-	-	-	3.00	0.25	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	
中京	-	-	-	-	3.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東山	-	-	-	-	6.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山科	-	0.40	-	-	1.20	0.60	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	-	0.33	0.67	-	1.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
右京	-	-	0.40	1.00	5.00	-	0.40	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
伏見	-	-	-	-	10.14	0.29	1.00	-	-	1.29	0.14	-	-	-	-	-	-	
西京	-	0.20	-	-	6.00	-	0.80	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都市計	-	0.09	0.09	0.12	4.09	0.14	0.56	-	0.12	0.21	0.05	-	0.10	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第52週

年齢階級、疾病別報告数

2021年12月27日～2021年1月2日

データ入手日:2022年1月7日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 ～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～5ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～ 5歳～	1歳 1歳 1歳 1歳～ 10歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 65歳～ 70歳以上	40歳～ 40歳～ 65歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 70歳以上	60歳～ 60歳～ 60歳～ 70歳以上	70歳～ 70歳～ 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(※1)	年齢1	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	4	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	年齢3	5	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢3	176	2	5	37	37	25	17	13	10	6	1	2	9	-	12	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	年齢3	6	-	1	1	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水痘	年齢3	24	-	-	10	11	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	年齢3	5	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	年齢3	9	-	-	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	年齢3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級、疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 ～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～5ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳～ 5歳～	1歳 1歳 1歳 1歳～ 10歳～	2歳 2歳 2歳 10歳～	3歳 3歳 3歳 15歳～	4歳 4歳 4歳 20歳～	5歳 5歳 5歳 25歳～	6歳 6歳 6歳 30歳～	7歳 7歳 7歳 35歳～	8歳 8歳 8歳 40歳～	9歳 9歳 9歳 45歳～	10歳～ 10歳～ 10歳～ 50歳～	15歳～ 15歳～ 15歳～ 55歳～	20歳～ 20歳～ 20歳以上 60歳～	30歳～ 30歳～ 65歳～ 70歳以上	40歳～ 40歳～ 65歳～ 70歳以上	50歳～ 50歳～ 50歳～ 70歳以上	60歳～ 60歳～ 60歳～ 70歳以上	70歳～ 70歳～ 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.09	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.09	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	年齢3	0.12	-	-	-	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢3	4.09	0.05	0.12	0.86	0.86	0.58	0.40	0.30	0.23	0.14	0.02	0.05	0.21	-	0.28	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	年齢3	0.14	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水痘	年齢3	0.56	-	-	0.23	0.26	0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	年齢3	0.12	-	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	年齢3	0.21	-	-	0.14	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	年齢3	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	
流行性角結膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第52週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年1月7日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症	-	1	-	-	-	1	4
咽頭結膜熱	2	4	7	7	10	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	15	14	9	19	5	
感染性胃腸炎	153	315	381	438	450	176	
水痘	3	11	5	4	-	6	
手足口病	84	85	64	77	51	24	
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	10	11	8	8	9	5	
ヘルパンギーナ	10	22	6	6	13	9	
流行性耳下腺炎	1	-	3	1	1	2	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	1	-	1	2	2	1	
細菌性齶膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-	
無菌性齶膜炎	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	
合 計	273	464	489	552	557	236	

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	-	0.02	-	-	-	0.02	0.09
咽頭結膜熱	0.05	0.09	0.16	0.16	0.23	0.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21	0.35	0.33	0.21	0.44	0.12	
感染性胃腸炎	3.56	7.33	8.86	10.19	10.47	4.09	
水痘	0.07	0.26	0.12	0.09	-	0.14	
手足口病	1.95	1.98	1.49	1.79	1.19	0.56	
伝染性紅斑	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	0.23	0.26	0.19	0.19	0.21	0.12	
ヘルパンギーナ	0.23	0.51	0.14	0.14	0.30	0.21	
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.07	0.02	0.02	0.05	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.10	-	0.10	0.20	0.20	0.10	
細菌性齶膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-	
無菌性齶膜炎	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	
合 計	6.43	10.79	11.45	12.99	13.10	5.57	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1について含む。

※2 細菌性齶膜炎は齶膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。